

“豊かで快適な環境づくり”をテーマとした、塗料・塗装を用いた建築物・建造物等のカラープランニングオープンコンペが本年も開催されました。

(審査会：2025年11月17日 東京塗料会館にて実施)

受賞作品
発表



[新築部門]

国分寺市役所 新庁舎

(東京都 内外装 公共施設)

受賞代表者

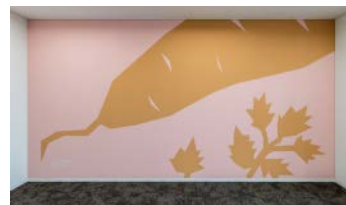
株式会社 竹中工務店 鈴 晃樹

株式会社 コトナ 片岡 照博・平戸 淳正



＜講評＞色彩設計によって建物の表情の骨格をつくり出した意欲的な作品である。周辺環境を丁寧に読み取り、建物の長手立面が面する東山道武蔵路側と都立武蔵国分寺公園側とで、異なる外壁の基調色を採用している点が特徴的だ。特に、公園側に選定された低彩度のグレイニッシュグリーンが印象的である。まちのシンボルとなることの多い庁舎を、市民参加の色彩ワークショップなどを取り入れながら、国分寺市の日常景観の延長として、市民に寄り添う「気持ち」で考え抜いた姿勢からは、本事業に関わったすべての人々の優しい想いが伝わってくる。

＜受賞者コメント＞分散していた庁舎機能集約のための新庁舎移転・新築計画です。ワークショップや検討会を通じ、市民や職員とともにつくる市庁舎を目指しました。外装は「木漏れ日グリーン」をコンセプトに、武蔵野台地の木々をモチーフに、暖色系のグラデーションと緑陰をイメージした落ち着いた低彩度のグリーンの配色を行いました。国指定史跡である東山道武蔵路側「カルチャーフロント」と、都立武蔵国分寺公園側「パークフロント」で、ふたつの表情をもたせています。この外装コンセプトは、地域の将来を担う市内の小中学生と周辺環境の色彩を調査し、ワークショップを通じて作り上げたものです。また、インテリアには、国分寺の大地が育む地場産農畜産物「こくべじ」をモチーフに、1月から12月の季節の野菜の彩りをグラフィックデザインと共に展開し、地域の文化を彩る会議室としました。





[新築部門]

富士ソフト汐留ビル

(東京都 外装 企業施設)

受賞代表者

株式会社 竹中工務店 平尾 雅之 梅原 豊・三橋 幸作



＜講評＞東京都港区汐留イタリア街のデザインガイドラインが誘導する外装色彩範囲を踏まえ、熟慮の末に選定された色彩であることがうかがえる。環境色彩では採用例の少ない高彩度のアースカラーであるが、外装材(PCコンクリート)表面をウォータージェット仕上げとすることで、新築でありながら時間の経過を感じさせる落ち着いた佇まいを形成している。また、低層部の色彩とのバランスも秀逸で、この建物がイタリア街の街並みの一体感をさらに高めている。提案の背景にある確かな設計・施工技術を高く評価したい。

＜受賞者コメント＞汐留イタリア街に建つオフィスビルである。ファサードに構造体PCブロックを千鳥状に積層した架構システムを「現代の組積造」として採用し、重厚感と迫力のある建築デザインを実現している。また、PCブロック表面は、職人の手作業によるウォータージェットにより細かな溝状の模様を彫り込み、コンクリートの表面保護剤を塗布した上で、イタリア街カラーコードに基づく色調の塗装仕上げとしている。地域が育んできたイタリア風建築による街並み景観と調和しながら、時間や季節ごとに刻々と表情を変える特徴的かつ個性的なファサードを創り出している。



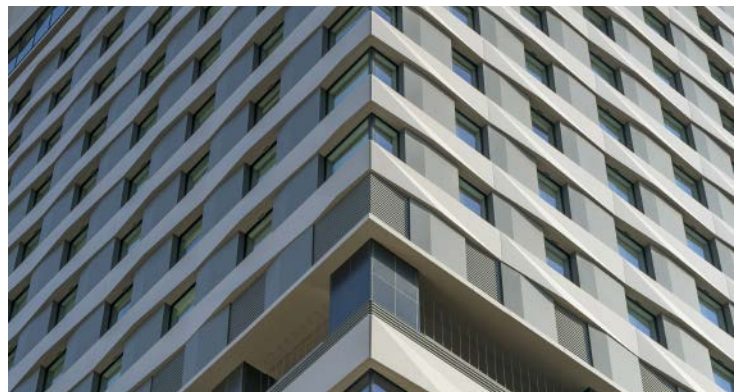
[新築部門]

ヒューリックスクエア福岡天神

(福岡県 内外装 企業施設)

受賞代表者

大成建設 株式会社 塩谷 尚斉 中塚 大介・塚原 香

株式会社 Design Eight 藤井 信介
高島屋スペースクリエイツ 株式会社 木村 勉

＜講評＞異なる用途や構造を積層させた高層建物を帯状の外装材で包み込むことで、窓面積の異なる各層の表情に一体感をもたせ、博多らしい都市景観を形成している。高層ビルの外壁は平板な印象になりがちだが、博多織をモチーフにした淡いベージュの多面体外装材が生み出す陰影の帯状パターンが、建物全体に統一感を与えている。また、塗装の艶の程度を変えることで幾何学パターンをほんのりと浮かび上がらせ、上品な表情をつくり出している点も評価できる。さらに、天候や時間帯によって見え方が変化する点も魅力である。

＜受賞者コメント＞福岡市の地下鉄天神駅に直結した複合施設である。ホテル・オフィス・商業を積層させ、都市の賑わいを凝縮した。用途に応じて最適な構造を組み合わせた S+RC 構造の複合構造とし、その重なりをダイナミックな分節として外観に表出させ、博多織をモチーフとした帯状幾何学パターンで統合した。建物内外に福岡/天神のモチーフを積極的に引用し、博多湾や周辺の山並みとも調和を図っている。外装は福岡カラーの淡いベージュ基調の陰影を主体とした表現とし、緑化と県産木材の温かみ、商業施設の鮮やかさがより際立つよう配慮した。天神地域に賑わいをもたらす「新しい GATE」として機能していくことを期待している。



「改修部門」 **コーシャハイム八潮北、コーシャハイム八潮西、コーシャハイム八潮南**

(東京都 外装
集合住宅)

受賞代表者

東京都住宅供給公社 **橋本 龍寛**

鈴木 啓一郎・朝岡 大貴・小関 誠



改修後



改修前

＜講評＞複数事業者が建設した大規模団地内に点在する公社住宅を対象とした改修提案である。周辺の他住棟との景観的調和を図るとともに、公社住宅としてのブランディング確立を目的としている。基調色にアースカラーを用いて統一感を保ちながら、各住棟にテーマカラーを設定することで個性を表現している。特に妻側および平側立面の中層部における配色は、長大な壁面を帯状に処理するのではなく、分割しつつ連続性を持たせることで、過度にグラフィカルな印象を避け、景観にリズムを生み出している点が評価できる。

＜受賞者コメント＞コーシャハイム八潮北・西・南は、八潮パークタウンに点在する全4棟の公社住宅です。建設当時から続く単調で統一感がない色彩は、似たデザインの周辺建物に埋もれていたので、色彩計画では「八潮パークタウンの新しい時代を牽引する、個性を持ったモダンな公社住宅」を目指しました。地域に調和するアースカラーを基調に、各住宅にテーマカラーを採用して個性を表現し、建物形状を活かした面の分割によるリズム感のあるモダンなデザインとしました。これにより、周辺建物と差別化することで、公社住宅として統一感を創出しブランド化を図りました。今回の外壁改修により、より一層親しみを持っていただき、地域の景観に賑わいを与えられることを願います。



「改修部門」 **金山団地**

(福岡県 外装 集合住宅)

受賞代表者

独立行政法人都市再生機構 **中村 久**

株式会社URリネージュ 小川 敏枝 カラープランナー 松山 祐子



改修後



改修前



＜講評＞50棟以上に及ぶ大規模団地全体を、色彩の効果によってリフレッシュするという一大事業である。複数年にわたるプロジェクトを成功に導いたポイントとして、事業初期段階に立案した住棟形態に応じた色彩設計方針を示すマスタープラン(団地全体の配色計画)に注目したい。この手法は、他の大規模団地の改修設計においても、ぜひ取り入れてほしいものである。また、既存のタイル色をポイントカラーとして継承し、次世代を象徴するニュートラルカラーを基調とした色彩設計も好感がもてる。

＜受賞者コメント＞築50年以上を経た古き良き団地らしさに、新たな色彩を加えることで新しい金山団地らしさ「趣とアーバンシック」を演出し、新旧の調和や緑との調和、周辺地域との調和が図れるような色彩計画とした。濃淡2展開としたグレイッシュな基調色により周辺の風景に溶け込みつつ、既存タイルカラーをモチーフとした3色のポイントカラーにより新しい彩りを加えることで、時を経て地域の風景となっている団地の良さと、新たな色彩との融合を目指した。



「改修部門」 **和洋学園 八幡寮**

(千葉県 外装 その他)

受賞代表者

日本ペイント 株式会社 **池田 麻紀**

学校法人 和洋学園 溝田 泰夫



改修後



改修前



＜講評＞家具メーカーの社員寮から女子大学の学生寮への施設改修に伴う色彩設計である。住宅地に位置する周辺環境と、直線的な凹凸が多い建物の形態特性を踏まえ、近接する学園キャンパス内建物の外壁タイル色であるピンクベージュの濃淡を用いて、建物各部の構成と全体のバランスを整えている。とりわけ、隣り合う色の配置や塗装面積を細部まで丁寧に調整することで、外壁色の組み合わせが街並みに違和感なく溶け込んでいる点を評価した。色彩設計における高い技量がうかがえる。

＜受賞者コメント＞現状の外観は市の景観計画に抵触し、かつ以前の家具メーカー社員寮時代のファッショナブルな印象が、和洋学園の淑やかなイメージと乖離していました。そこで学園カラーを軸に、穏やかなトーンでまとめることで、学園所有建物としての統一感と品格を演出。周囲の濃色タイル住宅との連続性を意識しつつ濃色を要所に配し、建物の独特な形状をより立体的かつ魅力的に浮かび上がらせました。地域の歴史や自然と調和しながら、学生と地域の方々に親しまれ、日常の風景にそっと溶け込む「学びを支える寮」を目指した色彩計画です。



【戸建改修部門】 N様邸(富山県)

(富山県 外装 個人住宅)



受賞代表者 **株式会社 オリバー 塚本 翔大**

＜講評＞中明度・低彩度のグリーン系外壁色の選定が秀逸である。板金部分の黒やバルコニー木部の塗装色との面積比により、建物全体のバランスが一層整った印象を与えている。

＜受賞者コメント＞今回の施工では、外壁の傷みが特に進んでいる部分があり、塗装での補修が難しい箇所は重ね張りをし、それ以外の部分は塗装による仕上げとしました。塗料の選定では、複数の塗料を取り寄せ、実際に試し塗りを重ねながら、お客様とともに最適な色を決めていきました。シャッターや格子、階段などの鉄部は黒で統一し、建物全体が暗くなりすぎないように、木部には明るい色を採用することで、全体のバランスと落ち着いた印象を両立しています。既存の雰囲気や大にしつつ新たな魅力を引き出し、施工後にはお客様にも大変ご満足いただけました。この受賞を励みに、今後もより良い施工とサービスの提供に努めてまいります。



【戸建改修部門】 N様邸(千葉県)

(千葉県 外装 個人住宅)



受賞代表者 **茂原住宅塗装 鬼原 裕之 鬼原 美奈子**

＜講評＞外壁および屋根の色は、本住宅に最も適していると思われる色相・明度・彩度が適切に選定されており、色彩設計における高い技量がうかがえる。改修後の施主の満足そうな表情が、作品から伝わってくる。

＜受賞者コメント＞自分の家が一番好き。お客様にそう思ってもらうことが何より大切だと考え、日々施工しています。今回の施工は、お客様ご夫婦のそれぞれの希望を色で表現しました。唯一無二の仕上がりだと、とてもご満足いただいております。グッドペインティングカラーでは審査員の皆様から何度もご評価をいただき、大変光栄に思っております。これからも私のオリジナルの色彩設計で、お客様が笑顔で過ごしていただける家づくりのお手伝いをしてまいります。



【戸建改修部門】 K様邸(福島県)

(福島県 外装 個人住宅)



受賞代表者 **株式会社 松本塗装店 木田 賢太郎 松本 貴宜**

＜講評＞建物の形状を活かした外壁塗装により、住宅がいきいきとした印象になっている。玄関扉に小面積で使用された赤色や、天候による建物の見え方まで考慮した色彩選定にも好感がもてる。

＜受賞者コメント＞弊社では、お客様に「品質・意匠性の両面で期待以上のものをお届けする」ことをモットーに、日々取り組んでおります。また、お客様との認識違いによるトラブルを防ぐため、事前の打ち合わせやカラーシミュレーションによるイメージの「見える化」を徹底しています。本件においても綿密な打ち合わせを重ねた結果、K様にご満足いただくことができました。ログハウスという珍しいタイプの建物での施工は、私たちにとって新たな挑戦であると同時に、大きなやりがいを感じられる案件でした。今後もお客様の笑顔のために、技術と表現力の研鑽に努めてまいります。

総評

第28回環境色彩コンペティション／グッド・ペインティング・カラーは、総数88件の応募に対し、約1か月の事前審査を経て11月17日に応募者名を伏せて実施した本審査会において、4名の審査委員が応募作品の色彩決定の根拠やプロセスを重視しながら慎重に議論を重ねた結果、最優秀賞1件(新築部門)、優秀賞4件(改修・戸建改修部門)、特別賞4件(新築・改修・戸建改修部門)の授賞を決定した。残念ながら選外となった方々も含め、まずはご応募いただいたすべての皆さま、そして本賞にご協賛・ご支援いただいた皆さまに、あらためて感謝申し上げたい。

グッド・ペインティング・カラーは、その名のとおり色彩設計に焦点を当てたコンペティションである。しかし、良好な景観づくりが本来、色の選定だけで実現するものではないことは周知のとおりである。本年度の応募作品では、色彩選定にとどまらず、塗装面の素材や仕上げ、形態などを複合的に捉えた

提案が数多く寄せられた。また、色彩を多様なステークホルダーとのコミュニケーション手段として活用する提案も見られ、色彩が持つ可能性の広がりを実感した。これらの点から、本コンペティションの成熟を感じるとともに、新たな段階へと飛躍したことを大変嬉しく思う。

最後に、今年は審査委員長を拝命して迎えた最初の一年であった。審査委員の交代もあり、責任の重さは想像以上で、正直なところ、こうして無事に終えられたことにほっとしている。同時に、色彩設計を実施し塗装仕上げされた建築物等が景観形成にもたらす重要性を、あらためて強く実感した。今後も多くの方々とともに、環境色彩分野の土壌を耕し、その可能性を育てていきたいと願っている。なお、内装部門(大規模・単独)については、本年度の応募が少なかったため、募集要項の明確化を含めた改善を行い、次年度の公募手続きへ進む予定である。

審査員 委員長 **田嶋 豊** 多摩美術大学 建築・環境デザイン学科 教授
委員 **名取 和幸** 一般財団法人 日本色彩研究所 理事長

委員 **永井 香織** 日本大学 生産工学部 建築工学科 教授 工学博士
委員 **桜井 輝子** 東京カラス 株式会社 代表取締役
一般社団法人 日本色彩学会 理事



後援 経済産業省 国土交通省

報道関係協賛 (株)日刊工業新聞社 (株)化学工業日報社 (株)日刊建設工業新聞社
(株)日刊建設通信新聞社 (株)塗料報知新聞社 (株)塗料界展望社
(株)日本塗装時報社 (株)コーティングメディア (株)住宅産業新聞社
コーテック(株) (株)工文社 (株)橋梁通信社

協賛団体 東京商工会議所 (一社)全国建設業協会 (一社)日本建材・住宅設備産業協会
(公社)日本建築士会連合会 (一社)日本建築学会 日本建築士上学会
(一社)日本色彩学会 (一財)日本色彩研究所 (一社)色材協会

(順不同)
(一社)：一般社団法人、(公社)：公益社団法人、(一財)：一般財団法人

主催団体

一般社団法人日本塗料工業会

▶ <https://www.toryo.or.jp/>

日本塗料商業組合

▶ <http://www.nittosho.or.jp/>

一般社団法人日本塗装工業会

▶ <http://www.nittoso.or.jp/>



第28回受賞作品

第1回～第27回の受賞作品(最優秀賞、優秀賞、特別賞)は日本塗料工業会のホームページにてご覧下さい。

▶ <https://www.toryo.or.jp/jp/event/GPC/index.html>